

「令和3年度第1回木更津市まち・ひと・しごと創生懇談会」会議録

1. 日 時 令和3年5月18日（火）13時30分～15時00分
2. 会 場 木更津市役所駅前庁舎8階 防災室・会議室
3. 議 事 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和2年度取組結果の
検証について
 - I. 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和2年度取組結
果の検証
 - II. 基本目標ごとの検証
 - III. 令和2年度地方創生推進交付金対象事業の検証
4. 出席者 市 側) 渡辺市長、山口企画部長
篠田次長、羽賀副主幹、菊池主事
鶴岡課長（シティプロモーション課）、大岩課長（危機管理課）
曾田課長（企画課）、松下課長（地域政策課）、
阿津課長（市民活動支援課）、草苺課長（子育て支援課）、
石渡課長（こども保育課）、松吉課長（農林水産課）、
小原課長（産業振興課）、鈴木課長（観光振興課）
委員側) 秋川委員、白石委員、根本委員、鈴木（ひ）委員、井上委員、
柳澤委員、徳永委員、田倉委員、北村委員、滝口委員、
平野委員、原田委員

1. 開会

2. 市長挨拶

◇市長 挨拶

3. 議事

●事務局

「I. 第2期木更津市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る令和2年度取組結果の検証」
及び「II. 基本目標ごとの検証」について説明

□座長

ただいまの事務局の説明に対しまして、ご意見ご質問等ございましたらお願いいたしま
す。ただいま説明した項目以外の取り組みでも結構でございます。また、改めて詳細に説明
していただきたいという、説明して欲しいという、項目がございましたらそれでも結構でござ
いますので、よろしくお願いいたします。

■委員

3ページの達成結果、出生数、幼年期の人口社会増が20.9%、人口の社会増が70.1%ということでございますけれども、人口の社会増70.1%はまあまあの数字が出ていると思います。ただそれが幼年期の人口社会増になると20.9%というのが、将来に向けて、木更津市の人口を考えたときに、少し乖離が大きすぎるのではないかと考えられます。この辺の原因、背景にどういうことが考えられるのか。具体的な数値の資料がないにしても、事務局としてはどのように分析されているのか、もしあればお聞かせいただきたいです。

○企画課長

この0歳から4歳が20.9%となった直接の要因というのは、調べてみたんですけれども、これだというようなものは見つかりませんでした。ただ、木更津市の人口の流れというものが、大まかになんですけども、県南部、それから対岸の東京都、神奈川県から木更津市へ転入をしてくれていて、転出先が、袖ヶ浦市、市原市と北に流れていくというように、反時計回りみたいな形の人口の動きが、大まかにはあるかなというふうに考えております。ここは何か掴めないんですけども、その対策として、市外の30歳から40歳代ぐらいの世代がですね、木更津市に引っ越してくれるような、目を向けていただくようなですね、取り組みが必要なのではというふうに考えております。

■委員

この会議に出るたびに保育協議会という組織から出ておりますので、どうしても保育であるとか、子育て支援であるとか、そういった分野についての質問や意見が多いんですけども、やはり将来この町が維持発展していくためには、人口が維持できなければ、それはできないわけですから。産み育てられる人口とか年代層の、定着や転入を促進するような具体的な施策が求められているのではないかと思います。5年、10年となると、かなり様子が変わってくると思いますので、今日本全体の出生数が相当減っております。坂道を転げ落ちるように、出生数が減っておりますので、すぐ手を打たないと、2、3年後には想像もできないような人口、要するに就学前人口のことを申し上げてますけれども、出生数については、952人ということで、81.9%と維持できておりますので、ただ、これはやはり1,000人をまずは目標にしないとイケないと思います。ですから切れ目のない支援ということで、その充実化を今後も図っていただきたいというのが、やはり他市から来て、コミュニケーションというか、いわゆる地元の人たちとの人的交流がないケースがあります。頼るところがない。これは主に仕事で転入してきた人達です。自分の意思で来た人ではなくて、会社の異動命令を受けてこちらに来た人。こういう人たちをどう、していくか。これはやはり重要だと思います。それから9ページの、待機児童の問題でございます。これについては、令和元年度62が2年度で90ということで、若干増えております。実は令和元年度以前から待機児童問題があるわけですけど、相当保育施設は新しくできています。認可保育園であったり、

職業保育事業であったり、ここ5年間ぐらいで定員は相当増えているはずですが、にもかかわらず追いつかない待機児童問題というのは、これは大きいと思います。今年から公立保育園の民営化が始まり、来年に運営が開始されます。こちらの施設は、現在、定員に対して充足されていません。いわゆる定員割れを起こしている。待機児童がいる中で定員割れを起こしている園が3つあるということ。これはやはり重要視していただきたい。まずここを100%充足するような手だてを立てた上で、新しい事業を掘り起こしていく。そういうことが必要ではないかと思います。これは質問というよりは私の意見でございます。よろしくお願ひしたいと思います。

□座長

ただ今平野委員からのご指摘にございました、待機児童についてですが、来年度の見通しについてはいかがでしょうか。

○子ども保育課長

来年度の見通しにつきましては、まずは今お話がございました、保育園の民営化というふうでございますし、あとは民間保育施設の建設予定もいくつかございます。そういった中で、資料にもありますとおり、保育士の処遇改善を総合的に行うことで、待機児童の解消に努めてまいりたいと考えております。目標としては、来年度中に0にしたいということで考えております。

□座長

定員割れしている、保育園が3あるということで、その辺の対応についてはいかがでしょうか。

○子ども保育課長

やはり保育士の不足ってところが、主な原因となりますので、保育環境の改善、ICTの促進などを行いながら、解消に努めてまいります。

□座長

他にございますでしょうか。

■委員

26ページに中心市街地の人口の社会増とありますが、確かに富士見2丁目ですか、西口にマンションができて、89世帯、人口は増えているのは確かでございます。そして東口にもタワーマンションができて、そちらの方も世帯数が増えています。そして、今マンション自体も、もう一つ大きなものが建設しておりますけど、マンションに入居されてい

の方は自治会になかなか入ってくれない方が多いです。そういった点が町内会としては、私
区長会で、代表できておりますけど。町内会とそういうマンションの世帯の人とコミュニケ
ーションがなかなか取れないという問題があります。それが一つと、あとなかなかマンショ
ンの住人の方が、地元の人ではなくて、他の県から入居した方が多いので、木更津とは親し
みが少し遠く、話題性も違うし、なかなか地域の活動にも協力してくれないという問題もご
ざいます。そういった点を踏まえていただきたいというのがございます。あと空き家の問題
ですが、なかなかこの空き家を再利用しようということは以前から話に出ていますけど、な
かなか今の現状を見ますと進捗があまり良くないと。空き家をリフォームして、何か再活用
しようという、何か企画を立てているのだろうけど、なかなかそれが再現できないというよ
うに、区長として西口東口を見えていますけど、その辺の見解をお聞かせ願いたいと思います。
以上でございます。

○市民活動支援課長

私からまず転入世帯というか、自治会の加入率の低下について、ご説明申し上げます。確
かにですね、年々、自治会の加入率が減少しているところでございます。要因としてはです
ね、価値観や、ライフスタイルの多様化しているところが、挙げられるんですけども、現在、
情報の提供はですね、自治会からのものを見なくても、個人でホームページ等を見れば用が
足りるというのが挙げられる。それと役員が回ってくるからちょっと、煩わしいっていうと
あれですけども、そういうことも挙げられる。あとはですね、共働き世代の世帯が多くなっ
た関係で、地域活動に参加することが困難だということで、加入されないというのも挙げら
れる。ただですね、自治会に加入することで、防災面もそうなんですけれども、メリットも
多々ございますので、市としてもですね、現在区長会連合会さんにご協力いただいているん
ですけれども、今後も引き続き、加入促進に向けて取り組んでまいりたいと思います。

□座長

空き家の再利用についてはいかがでしょうか。

○地域政策課長

空き家対応というお話でございますが、直接私ども地域政策課の方で、そこに結びつくか
ということがございますが、中心市街地の活性化というところに私どもの方で取り組んで
おります。あとあわせてですね、一般社団法人まちづくりというところですね、民間の視点
で、昨年度、いろいろ検討している中で、やはり中心市街地が空き家ですとか、空店舗が多
く見られる、いうところの中で、こういう施設について、リノベーションというものをうまく
活用して、使っていただくということが可能性としてあるのではないかと。それによって、
地域の活性化に結びつくのではないかと、いうところの検討を始めております。それを、事例
等を基にですね、今年度、まちづくり木更津の事業でございますが、勉強会を6月、7月、

8月やっていこう、というところで検討はしていきたいなと、私の方ではそのような形で取り組んで参りたいと思っております。

■委員

あともう一つ、この市街地の中で、とても老朽化していて空き家として再利用できないような状態の、老朽化して今にも壁が落ちそうで、通学路の中にもそのようないつ壁が落ちてくるのか、通学路の中に建物が結構あります。それは区長を通して、市の方に何回か口頭で何とか取り壊しをしてもらえないかとか、今強制撤去しているとも何件か市であります。だから、そういった市街地の中でもまだまだたくさんそういう老朽化の危ない建物があるので、その辺のところを、区長から要望があったときに早急に対応していただきたいと思えます。

□座長

他にございましたらお願いいたします。

■委員

委員をお受けするにあたり、総合戦略を改めて読ませていただきまして、当市の総合戦略は県よりも半年以上前に作られているのに、新たな視点としまして、SDGsの17の目標を主な取組と紐づけて設定されているというところが非常に優れていると思ひ、県はまだそこまでいっていないので感心しました。あと、2年度実績について、KPIについて説明がありましたけど、今年はやはりコロナ禍ということで、かなりのイベントが中止されているようですし、2年度は外部要因が大きかった年として、特別な年として捉えざるを得ないのかなというのが相対的な感想です。あと個別的なところで、2点お話しすると、10ページに、男性の育児休業の指標が②に出てましたけれども、これ県も同様なんですけど、当市17.4%と数字が述べられてるようですけれども、県の方がやはり男性の育児休業は伸びてませんで、新しい知事が、11のビジョンって、働き方ですか、その観点から、千葉市では原則育児休業を取るようにしてまして、逆に取得しない場合はその理由を提出するような制度にしたら、取得割合が8割ぐらい上がったという話があり、今県では発破をかけられてやっております。これは参考までに、意見でございますけれども。最後にもう1点。36ページに、特定健康審査受診率というのが、指標の①で設定されておまして、補助金を使って委託事業をしておりますけれども、数値が45.3%から41.1%に下がっております。さらにデータヘルス計画の中間評価の結果で、目標値そのものを下方修正していますけれども、この辺の理由とか経緯とか、何かわかったら教えてもらえますか。

●事務局

そのあたりの数値的な目標把握してございませんので、担当課の方に確認をし、計画値が

正しいかどうか、さらに検証してまいりたいと思います。

■委員

目標値を下げられた経緯がもしわかったら、後ほど教えていただければそれで結構でございます。

□座長

他にございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは次に、Ⅲの令和2年度地方創生推進交付金対象事業の検証についてを議題に供させていただきます。まず、事務局から説明申し上げます。

●事務局

「Ⅲ. 令和2年度地方創生推進交付金対象事業の検証」について説明

□座長

ただいまの事務局の説明に対しましてご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。以上で議事はすべて終了いたしました。改めて全体を通して、ご意見或いはご質問等がございましたらお願いしたいと思います。委員いかがでしょうか。

■委員

富来田ですけれども、ふくちゃんバスをつくっていただいて、まちづくりの方で大変皆さんありがたく、このコロナ時代にも、結構皆さん活用されてとても喜ばれております。そして、会員申し込みとか、冊子が公民館に置いてありますので、公民館を通して、申し込みしてますので、コロナで親戚とか、子供たちも来られないので、とても活用がされてるそうです。とてもよかったと思っています。そして、先ほど子育てのことも、私達、お店も何か地域と交流できて新しい方と、昔の人も皆さん何があるかわかるけれども、新しい方はわからないので、新しい方と交流して、商工会の方も何かまちづくりとか、子育て支援ができたらと考えております。よろしく申し上げます。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

それでは、先ほどのアクアコインで一つ提案ですけども、アクアコインの説明とか読ませていただきましたけれども、コロナ禍で非接触という観点から、PR することがいいのではないかなというのを一つ思ったことと、もう一つやはり電子地域通貨が一番心配なのは、セ

キュリティなので、その辺の安全性とかですね、そちらの切り口からの説明とかもあってもいいのかなと感じました。

○産業振興課長

アクアコインに関しましては、委員ご指摘いただきましたとおり、キャッシュレスという意味では、この状況下におきましては、非常に有効な手だてだというふうに感じております。また、常日頃からアクアコインの普及にあたりましては、単なるお財布代わりというだけでなく、そういった衛生面においても非常に効果があるということで重ねて周知は図っております。また、セキュリティに関しても、いろいろな大手の電子マネー等のニュース等でセキュリティの問題を指摘されているところがございますが、幸いアクアコインに関しましては、現時点で、そのようなセキュリティ面での問題、課題、事件が起きておらず、市の方としては幸いかなと思っております。引き続き、そうした安全、また安心して使えるような、電子地域通貨化ということで、周知を今一度図りたいと思います。ありがとうございます。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

私の方に関係するところで、生涯学習のところから一言申し上げます。昨年度は市民講座がコロナでできなかったということがございますが、40ページです。これを何らかの形で、例えばオンラインで配信するとか、私たち死にもものぐるいで毎日授業を作っております。何科目もありますところで、90分用の授業を用意するのに、本当に1科目で4、5日かかって、毎日皆さん自転車操業をしておりますが、それと私たち、2年目に入りました。コンテンツを作るのに慣れてまいりましたので、こういうときに、生涯学習或いは出前講座のようなもので、コンテンツを作るお手伝いというのできるのではないかと考えております。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

金融の立場からですね、特に19ページの中小企業の資金融資の件です。コロナということで、各金融機関との中小企業支援ということで、いろいろな融資を対応してまいるわけでございますけれども、現状、一段落しまして、一服感がある中で、ただ、まだまだこのコロナが続く中で、いろいろな資金支援をしていかなければいけないということも考えられております。その中で、例えば市の方で中小企業の支援、持続的に成長する支援といたしますか、そういう緩和策のような助成金を出すような、そういったものは、今後何か考えら

れる余地はあるのでしょうか。

○産業振興課長

今お尋ねいただきました中小企業資金融資に関しましては、千葉銀行さんの方にも大変ご協力をいただいているところでございますが、市独自の制度融資という形で、毎年、市内におります金融機関様と一緒にですね、新融資の枠組みを使って、中小企業への融資をさせていただいてるところでございます。またあわせて、その制度の融資を活用していただいた方々には、改めてその利息利子につきましても、市の方で予算を用意いたしまして、利子補填という形での制度も用意させていただいております。このコロナの状況が非常に特異な時期というふうに我々捉えております。と申しますのは、いわゆる銀行様より融資をいただく、という手だてのほかに、千葉県さんの方だと、いわゆるセーフティーネット、融資の枠というものが非常に広がっておりまして、昨年1年間を見ますと、通常の融資ということに比較しまして、それよりも、このコロナの状況下において優位な無利子無担保といった、優遇措置もあるセーフティーネット等を活用した資金繰りというものも、大いに活用されているのかなというふうに考えております。そうした中では、市の公表しております予算につきましても、非常に有効に活用させて、その保険の融資とあわせて、私どもも市単独で用意している融資、或いは融資制度も大いに活用させていただいておりますので、今後も引き続き、金融機関の皆様方からご意見を頂戴しながら、より中小企業の皆様方に対しての策をいろいろ講じていければというふうに考えております。よろしく願いいたします。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

教職員という立場からなんですが、少し南総地域とは違うのですが、12ページのところ、ICT関係のことですが、各学校にタブレットの配置、モニターと、市のご配慮をいただいていることに本当に感謝しております。こちらの方の指標②を見させていただくと、教員の方では、かなり使っている状況がありますが、実際、まだ家の方には持ち帰れていない状況がありますので、また緊急事態宣言であったり、学校のことがありますので、もし早急に実証実験であったり、家に持ち帰ってもできるような整備であるとか、また研修の方も、こちらの教職員の方も頑張っていきたいと思っておりますが、ご協力をお願いしたいと思っております。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

39ページになりますが、自主防災組織、そしてまちづくり協議会、組織は今このところについて大きく増えて、目標値まであともう少しになっております。今異常気象で、一昨年ですか、災害がこのところ多発してますので、今各まち協もそうですけど、いろいろな区長会でもそうなんですけど、避難所運営マニュアルというのを作成してまして、いざ災害が起きたときに、公民館、小中学校が避難所として活用されるわけですけど、全部ではないですけど、一部の公民館とか、私も少し公運審の方をやらせていただいて、公民館の方を回らせていただいているんですけど、かなり老朽化した公民館があります。そういった場所を見まして、これがいざ災害が起きたときに、この公民館が避難所として使えるのかなと。市のことですから、耐震構造とかそういうのは計算して、避難所として活用しているだろうけど、見ると壁が少し老いてきたり、タイルが剥がれたりしている公民館が数多く見られます。だからそういった避難所として活用される公民館を、老朽化したところをもう一度見直していただければなと思います。これは少し余談になってしまいますけど、中央公民館の跡地が6月いっぱい駐車場が使えなくなりまして、多分旧中央公民館が取り壊しに入ります。その後どのように活用するのか、区長会で市民の声を少し聞くと、中規模ホールは旧市役所の跡地にできると。そして、現在市民会館の大ホールが今建ってますけど、あのまま使えない状態でいつまでしておくのかという問題がございます。もしあのまま使えないのであれば、あそこを取り壊せば駐車場としてかなり大きいスペースになると思います。現在、中ホールと市民体育館を使っていて結構、満車な時が多いので、大ホールが使えない状態であれば、取り壊して駐車場にすれば、幅広く活用できるのかなと、そういう市民の声もございますので、この辺またご検討願いたいと思います。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

私は、社会福祉協議会という立場から、この基本目標の中にあります、結婚出産の中の、私の方では結婚相談所を設けております。お見合い回数も去年は8回ありましたが、結婚できるかという、ゼロです。4市或いは市原市も見ましても、今の状態では、結婚者がいない。出産もなくなっていく。人口も減っていく。ですから、うちの方も、なるべく結婚相談の方に力を入れていますが、今は週1の面談しかやっておりませんので、日曜日とお勤めの人たちには、なかなか来ること、親御さんが来ることもございますが、何しろ結婚相談という、うちの方でやってありますが、今申し上げましたように、結婚する人がいない。そして今、年齢的に結婚相談に来る方は、40代、50代で男性がほとんどでございます。女性の方はいませんというわけではございませんが、少数でございます。この数年、元年のときに、うちの方は、お見合いをして、成立は2組でございました。そのような状況でござ

いますので、なかなかこの基本目標の結婚出産というところに、なかなか力が出ないのかなという考えもございますが、どうぞ委員の皆様、木更津市社会福祉協議会の中で、結婚相談所をやっております。無料でございますので、どうぞ広めていただきますようこの場をお借りいたしまして、よろしく願いいたします。

□座長

ありがとうございます。委員いかがでしょうか。

■委員

先ほど申し上げたことと関連してありますが、8ページにこの地域で子育てしたいと思う人の割合が、令和4年度目標値に近いんですね、元年度、94.2が、同じ割合なんですね。ですから、この数字を見る限りまんざら捨てたものじゃないという。ただ先ほど事務局からの説明で、転出先が北へ向かっていると、反時計回り、せっかく東京、神奈川から木更津に定住をしてくださるという方がいるにもかかわらず、北へ向かって人が移っていくという、例えば隣の袖ヶ浦市、ほとんど市域が一緒で、経済圏もほとんど一緒ですよ。金田地区のアウトレットや、新たな大型のスーパーマーケットができましたけれども、就労の場も重なっております。何が違うかってことを考えたときに、前から申し上げてる通り、子育て支援の細かな施策ではないかと、私なりに分析しております、8ページにこれだけの数字が出ているのですから、子育て世帯包括支援事業について、充実をしたらいかがでしょうかという意見を申し上げましたけれども、子供を産み育てられる世代の定着を図るためには、まず待機児童ゼロにすることと、ここの子育て支援、切れ目のない子育て支援を充実すること、この2本柱を同時に達成しなければ、子供を産み育てられる、特に女性の定着は見込めないだろうと思っております。包括支援事業について、やはりもう中身は人です。人員を増やして、きめ細やかな対応ができるように、やはり動けるような組織を作っていくないと、相場的に事業はありますけれども、そこにかかる人が複数仕事を持っているがためになかなか動けないとか。健康福祉部全体で見ながら、あまり課の分担にこだわらず、事業によっては、有機的に動けるような、そういうファジーな組織づくりも必要ではないか。ある程度縦割りを少し柔軟に考えていかないと、新たな人手を投入する以外、道はないと思いますので、今いる人材をどのようにうまく活用していくかということも、支援事業の充実と私が一言で言いましたけれども、やはり人です。きめ細やかな支援ができるような人を配置できないと難しいと思います。どうぞご検討いただければと思います。

□座長

子育て支援課長、委員がおっしゃった、きめ細やかな支援という観点からいかがでしょうか。

○子育て支援課長

委員おっしゃるとおりだと思います。確かに、待機児童の問題は、施設保育だけではなく、地域の保育、子育て支援の充実が重要だと考えています。まだまだ、確かに事業を立ち上げたは立ち上げたんですが、やはりもう少しきめ細やかな、やっぱり、どこかに今隙間があります。例えば産後ケアにしても、4か月までは病院の方でやれるんですけど、そこから先1年間伸びましたというときに、誰にやってもらおうかということとか、そういうところの本当にすき間すき間なんですけど、そちらを埋めていく作業をこれからしていかなければいけないというのは痛感しております。そして、おっしゃるとおり、人です。やっぱり子育て支援ができる人材というのは、保育士だとか保健師だとか助産師だとか、人的に限られた人材でやっているところですので、人材の開拓をしつつ、あとは質の向上をしつつで、すき間を埋めていくような作業を今後していきたいと思っております。

□座長

委員、いかがでしょうか。

■委員

今回、令和2年度の取組結果の検証ということですが、少しそれから離れてしまいますが、検証の中で今後の方針ということが書いてありますので、関連でご質問させていただきたいと思っております。令和2年度については、これらの影響をかなり受けて、いろいろな指数で低い数字が出ている部分もあるかと思っておりますけれども、それを受けて、今後の方針ということで記載がされていると思っておりますが、令和3年度について、こちらの総合戦略を策定した時に想定していたその予算規模みたいなものが、確保できているのか、或いはコロナの影響でその手当をするための予算が縮小されているのか。その辺概要でお伺いできればと思います。お願いいたします。

●事務局

委員おっしゃる通りですね、コロナの影響によりまして市の税収であるとか、そういうものに大きな影響が出てきておりまして、このまちひとしごと創生総合戦略に位置付けられた施策に限らず、全体的な、計画の見直しというのが進められております。実際に予算につきましても、できるだけコロナ対策に経費を充てるために、削減とか、見直しとか先送りというのは、現在行っている状況ではございます。

■委員

そうした場合に、こちらの第二期総合戦略を策定したのが令和元年度中ですかね、2、3、4年度とありますけれども、その策定の際と、その背景というか、前提がいろいろとコロナの影響、或いは予算の関係が変わってくる中、その目標値に達成するためには当初予定して

いたやり方ではかなり難しくなってくるのかなと思いますので、どうやっていけばというのは大変難しいとは思いますが、ぜひ職員のアイディアとか市民、職員のアイディアを活用していただいて、進めていただければと思います。

□座長

ありがとうございます。それでは市長お願いいたします。

◇市長

様々なご意見をいただきましてありがとうございました。コロナの中でというお話も、いただいているんですけども、それに甘んじることなくやっていかなきゃいけないというふうには改めて思ってます。先ほど人口のこの流れの中で、北にというお話があって、その中でも特にですね、袖ヶ浦が海側の、区画整理が入って、そこに、ここ2年ぐらい、大変多くの数が流れているという状況があります。特に子育て世帯が、移っている部分は、こう見えるんですけども。これからまだ、金田地区であったり、清見台地区であったり、それぞれ宅地の供給も進む中で、合わせて、子育て支援をしっかりとさせていただきながら、ぜひ、その世帯、その世代をですね、確保できるように努力をしていきたいなというふうに思ってます。全体の、全国の流れの中でも、東京から地方へ、若しくは自然が溢れている場所への、移住の流れもありますので、そんな部分もしっかり受けながら、しっかりと組み立てながら、全体的に進めていければというふうに思っておりますので、ぜひ、また引き続きのご指導いただければというふうに思っております。今日は本当にありがとうございました。

□座長

委員の皆様におかれましてはお忙しい中貴重なご意見を賜り賜りまして誠にありがとうございました。いただいたご意見を踏まえまして総合戦略の着実な推進につなげて参りたいと思いますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございます。

4. その他

●事務局 事務連絡

5. 閉会